V-HORiZON

ELMO

設置説明書　PF-P450

この設置説明書をよくお読みのうえ、正しく設置してください。また、ご使用前に別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

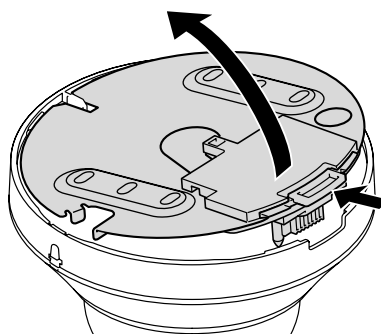
お守りください

- 静電気による破損を防ぐため、本機に触れる前に身近な金属（ドアノブなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 本機を設置する際は、天井や壁などに対する防水処置を正しく行ってください。
- 本機の総重量を考慮して、平面で耐久性がある天井や壁をお選びください。
- 本機は−10℃〜50℃の環境に設置してください。（結露なきこと）

1. ベース板を天井または壁に取り付ける

1 付属のパターンシート（取扱説明書41ページに印刷）を使って、天井または壁に取り付けたい位置を決め、2箇所または4箇所に印を付けてから取付け穴をあける。

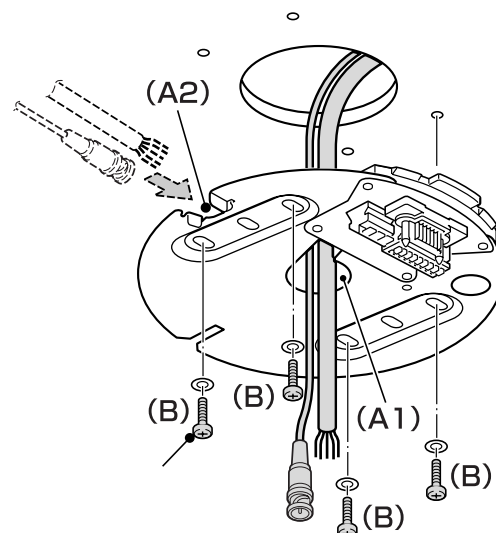
2 天井または壁から配線用ケーブルを引き出しておく。

3 ベース板をカメラユニットからはずす。

押しながら持ち上げカメラユニットからベース板を外す。

4 配線用ケーブルをケーブル穴（A1）に通す。

天井面や壁面に配線する場合は、誘導口（A2）の間からケーブルを通す。

5 天井または壁に開けておいた取り付け穴（2箇所または4箇所）とベース板の取り付け穴を合わせて、ワッシャーとネジ（B）でしっかりと固定する。

ネジ（B）の長さ：35mm以上
ネジ（B）の直径：3.5mm〜5.0mm
取り付けネジは確実に天井または壁に埋め込んでください。ネジ穴が浅すぎると落下の恐れがあります。

ベース板を天井に取り付ける場合は、ベース板の内側にあるシールの（⬇）が、監視方向にくるように取り付けてください。

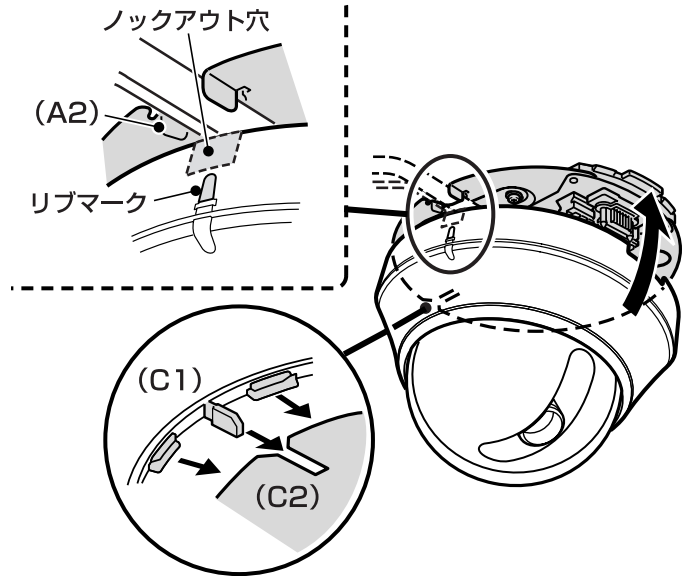
ベース板を壁に取り付ける場合は、刻印の（↓）が垂直になるように取り付けてください。

2. ケーブルを接続する

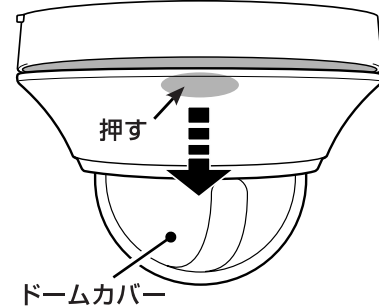
接続方法は「接続」をご参照ください。

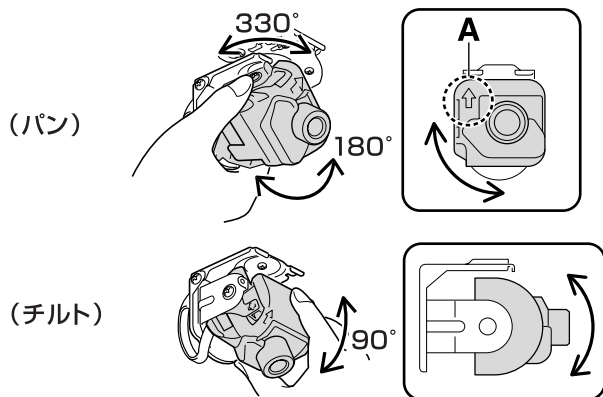
3. ベース板にカメラユニットを取り付ける

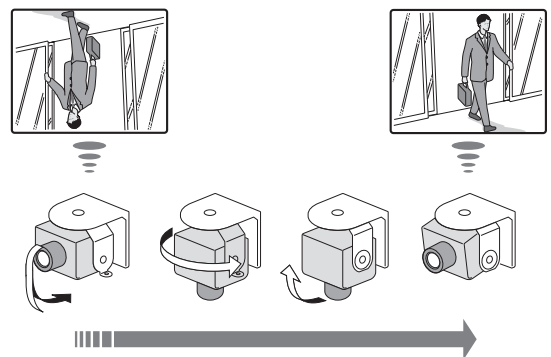
1 カメラユニット裏のツメ（C1）とベース板の差し込み口（C2）を合わせ、カチッと音がするまでカメラユニットを押し込む。

誘導口（A2）の間にケーブルを通す場合は、リブマークの近くのノックアウト穴部分を、ペンチ等で2−3回折り曲げて切り取り、その誘導口にケーブルを通します。

メモ しっかり固定されているかよく確かめてください。

4. ドームカバーを外す

1 ドームカバーは、図のようにリブマークと反対側のキャビネット部分を押しながら、矢印方向に取り外す。

5. カメラの映像を確認する

1 図に示した部分を持ってレンズを操作し、画角を決める。

カメラ映像が上下逆さまにならないように、カバーに刻印された(A)の示す方向を上にしてください。

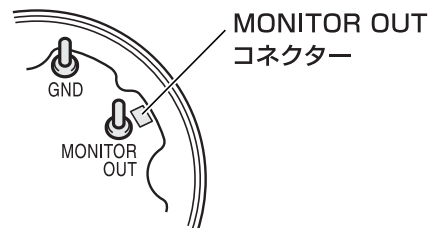
壁に取り付けた場合:
映像が上下逆さまになります。正方向にするために、レンズを下に向け、矢印の方向に180°回転させ、レンズを戻してください。このとき、フラットケーブル（FFC）を傷つけないようご注意ください。

5. カメラの映像を確認する（つづき）

2 設定画面を使ってカメラの調整を行う。

- 別冊の取り扱い説明書をご参照ください。

極端に明るい照明などの光源下では、垂直もしくは水平方向にスミア（帯状のノイズ）が発生することがあります。
このような場合、モニターを見ながら、照明の角度を変えるなどしてください。

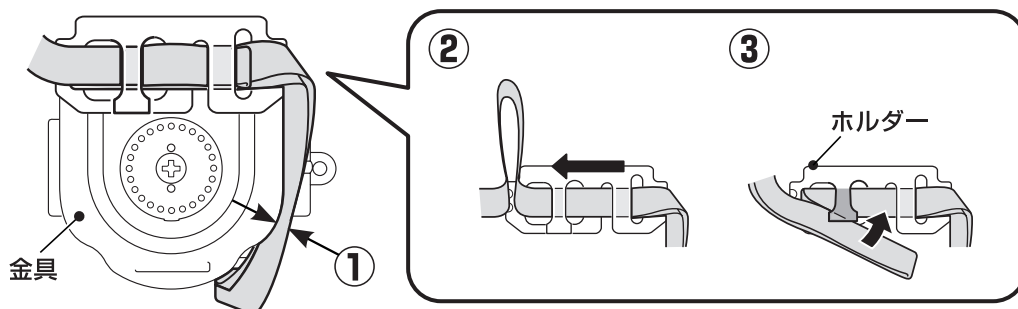
メモ 手元で映像をモニターすることができます。

- 基板上のMONITOR OUTピンとGNDピンをワニロクリップで接続してください。
  また、MONITOR OUTコネクターを使ってモニターすることもできます。

6. ドームカバーを閉める

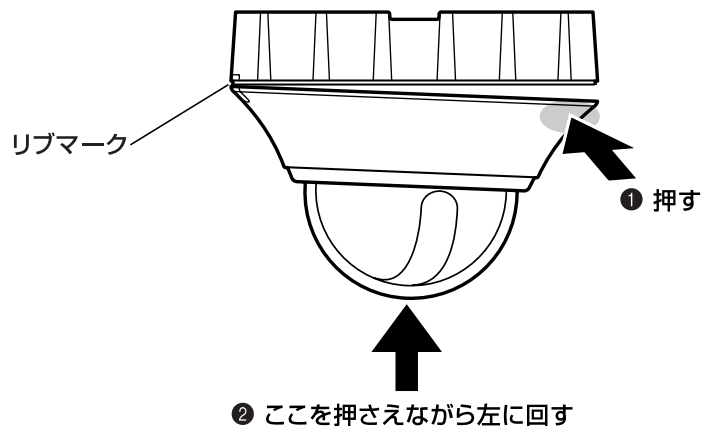
1 フラットケーブル（FFC）を整形する。

① 図のようにケーブルを金具に引っ掛ける。

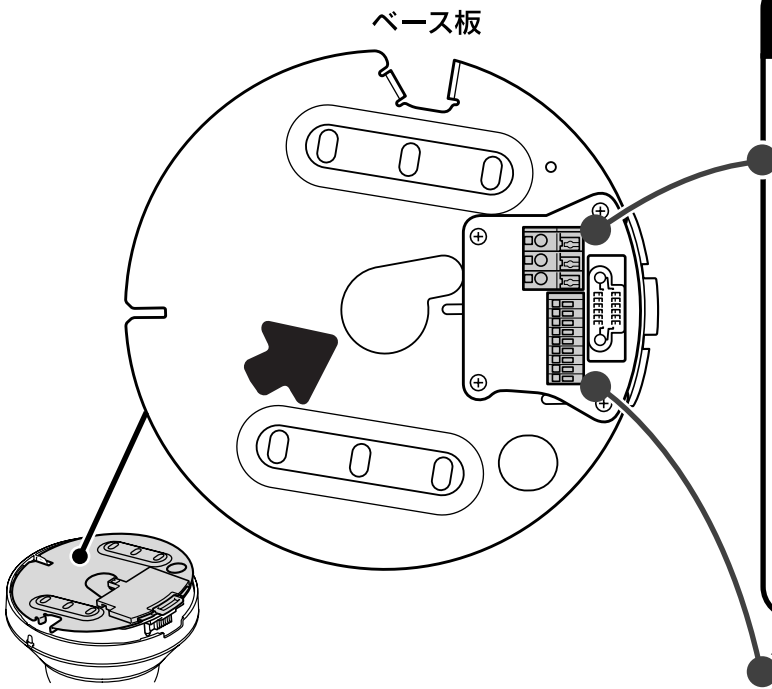
② たるまないよう矢印の方向に引っ張る。

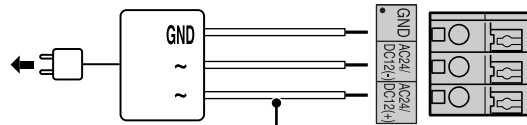
③ 余ったケーブルをたるみがなくなるまで折りたたみ、ホルダーのスリットに挟む。

2 ドームカバーを閉める

❶ ドームカバーは、リブマーク部分の突起部分をハウジングの四角形の穴に合わせ、図の部分をカチッと音がするまで押す。

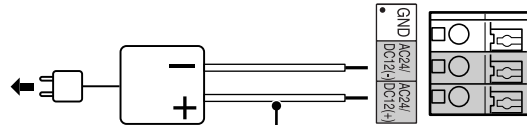
❷ ドームカバーのレンズ窓からレンズが完全に見えるまで、手でドームカバーを押さえながら左に回し、調節する。

接　続

すべての接続が完了するまで電源を入れないでください。

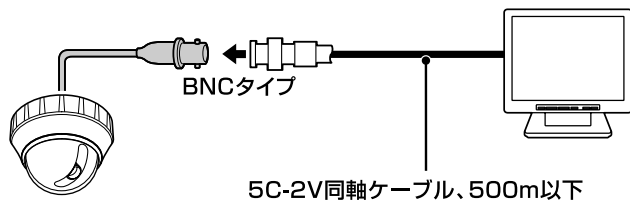
ベース板

電源を接続する

■ AC 24Vの場合

18AWGより太いケーブルをご使用ください。

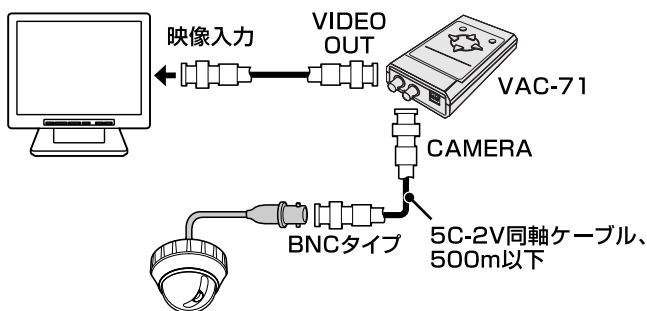
■ DC 12Vの場合

● 極性+、−が正しいことを確認してください。

18AWGより太いケーブルをご使用ください。

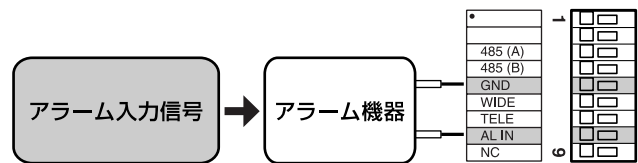
モニターを接続する

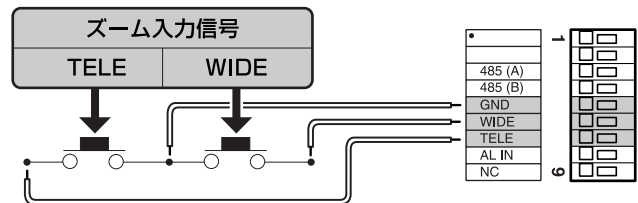
5C-2V同軸ケーブル、500m以下

接続する機器間の距離が短い場合は、3C-2V同軸ケーブルも使えますが、配管や空中配線には使用しないでください。
使用するケーブルが上記と異なると、映像や同期信号が減衰して正しく伝送されません。

■カメラコントロールユニットを使う（VAC-71:別売）

調整や設定時に本機を遠隔操作することができます。
VAC-71の取扱説明書をご参照ください。

● 設定や調整が完了したら、必ずカメラコントロールユニットは、取り外してください。
また、ケーブル補償器や映像分配装置を使用した場合、制御の保証はできません。

アラーム信号を入力する

詳細は別冊の取扱説明書「アラームを設定する」（P30）をご参照ください。

ズーム信号を入力する

WIDE（広角）/TELE（望遠）を調節します。

カメラを遠隔操作する通信機器に接続する

■ RS-485を使用する場合

■ 同軸ケーブルを使用する場合

この説明書は、古紙配合率100%、白色度70%の再生紙を使用しています。

R0
1AC6P1P3218--
L5BK2/JPEL(0507KR-SY)